



# The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 20 | Issue 2 | December 2016

## 今号では・・・

- ▶02...スクールカレンダー2017-2018
- ▶03...キスティヴァル2016
- ▶06...K1による、正しい歯の磨き方
- ▶08...いじめ防止活動
- ▶08...G1Bのかぼちゃ彫刻
- ▶09...未踏の地の探査が世界にもたらした
- ▶10...算数言語
- ▶12...KIPSからこんにちは
- ▶13...MYP保護者ワークショップ
- ▶14...6年生MYP美術
- ▶16...World Scholar's Cup
- ▶17...KISTでのアカデミックライティング

「達成しなかったことは失敗と同義ではない。努力し、試みたことを成功というのだ。」  
—Susan Jeffers

## 学校長より



12月が近づき、多くの皆さんが冬休みを心待ちにしていることと思います。この原稿を書いている今、私達は2週間を切ったCIS/IB認可・再審査訪問のための最終的な準備を行っています。皆さんがこの記事を目にされる頃CIS/IB訪問団は既に帰国されているでしょう。今回の訪問に先駆け、学校コミュニティ全体が2年間をかけて綿密な準備を行ってきました。Mr Sullivanと3名のIBプログラムコーディネーター、Mr Bradley、Mr White、そしてMr Roseは訪問が順調に、そして成功裏に終わるよう最後の調整に大いに力を発揮してくれました。学校を代表して準備の際にご協力くださった皆さん、訪問団を迎え・歓迎して下さった皆さんに大きな感謝を捧げます。また、お忙しい中、CIS/IB保護者セッションにご参加くださった保護者の皆様にも特に感謝致します。訪問が終わると、後はCISとIBからの公式発表を楽しみに待つばかりです。今年の春にはKISTが正式にCIS認可を祝うことが出来ると確信しています。CIS及びIB両方の認可を受け、学校を更なる発展を続けていき、5年後の評価チームを期待とともに受け入れていきたいと思っています。次の訪問は2022年、その時を新しい体育館・教室で迎えることが出来ると思うと胸が踊ります。

今年のKISTivalは皆さんのご協力と努力のお陰で大きな成功に終わりました。コミュニティ内外から3000人以上の来場者があり、600万円以上の売上がありました。今年の収益の一部は非常放送システムの入替えにあてられ、残りは2019年に建設開始予定の新体育館・校舎建設資金となります。KISTivalは本校の主な資金調達のためのイベントですが、それ以上にコミュニティとして一致団結し、愛校精神を発揮し、何かを成し遂げるための素晴らしい機会でもあります。今年もKISTivalのための皆さんのご尽力に感謝致します。

毎年秋には幾つかのキャンプ・合宿が行われます。G5が来るExhibitionに備えるための2日間のテクノロジー・キャンプ、G7の生徒たちが静岡県で行う宿泊合宿、富士の裾野で実施されるこの合宿では生徒たちが農業・林業(ノコギリを使って実際に伐採を行います)を体験します。生徒たちの貴重な学習体験をサポートして下さる保護者の皆さまと、これらイベントの準備に多くの時間を費やしてくれた先生方に感謝します。

次のページに続く

## 重要な日付



### 2016年12月

- 9 (G1-G12) Clubs program ends
- 9 (K3-G5) LEAP classes end
- 9 (K1-G2) After care not available
- 12-14 (G9-G11) Semester 1 examinations
- 14 (G6-G12) SRC dance
- 15 (E) Winter celebration rehearsals
- 15 (E) Winter celebration (\*Morning)
- 16 (K1-G2) After care not available
- 17-Jan 9 Winter vacation
- 19-20 Office open

### 2017年1月

- 9 Staff development day (No school for students)
- 10 School resumes for all students
- 10-17 (G12) Semester 1 DP mock examinations
- 13 (G4-G5) Mathematics diagnostic testing
- 16 (K3-G5) Semester 2 LEAP classes resume this week
- 20 (G6-G10) Mathematics diagnostic testing (\*Morning)
- 20 (S) End of Semester 1 (Half day for students)
- 20-22 (G9-G11) MUN conference in Shanghai
- 21 SAT@KIST
- 23 Semester 2 commences
- 23/24/26/27 2017-2018 enrollment interviews



KIST is an IB World School

PYP | MYP | DP

## 前ページの続き

毎年11月にはDrop Everything and Read (DEAR) イベントが開かれます。エレメンタリーで開かれる主なDEAR イベントは保護者による低学年への読み聞かせと、生徒たちがお気に入りの登場人物に扮して校庭でのパレードに参加する、DEAR book paradeです。毎年このイベントの開催と運営のために図書チームが費やす時間と労力と、読み聞かせに参加し、本の楽しさを伝えてくださる保護者の皆さま、そしてCAの強力なサポート、その他の参加者の皆様のご協力に本当に感謝しています。

2016年度の最終行事として、エレメンタリー、セカンダリー両校のウィンター・コンサートが開催されます。セカンダリーのコンサートは12月2日(今夜です!)、そしてエレメンタリーコンサートは、保護者の皆さんの参観が多い行事であるため、今年はより多くの皆さんにお越し頂けるよう、12月16日に、K1からK3までと、G1からG5までの2部に分けて実施します。また、今年はMs CampbellとMr Jonesの協力により、年賀状作りにセカンダリー生も参加できるようになりました。今年も皆さんとウィンターコンサートや、様々な活動に参加できることを楽しみにしています。

2016年も終わりに近づき、2017年の訪れが待たれますが、休み明けすぐの、1月の第1週に最初のDP模擬試験に臨む12年生に大きなエールを送りたいと思います。この試験をもって、DPコースはほぼ終りを迎え、その後は公式試験の準備期間となります。KISTで授業を受ける最後の数ヶ月間、12年生は5月に行われる集大成としてのDP試験準備に集中します。12年生の皆さんの健闘を皆で応援しています!

皆さんにとって2016の残り数週間が良いものでありますように。そして、2017年1月10日にまた皆さんとお会い出来ることを楽しみにしています。

皆さん、良い休暇を!

**Jeffrey Jones**  
Head of School



## スクールカレンダー2017-2018



ご家族でのご旅行計画などの際のご参考として、2017-2018年度の重要な行事予定を下記に記載いたしました。

各ご家庭には記載された始業日までに東京に戻られ、お子さんが登校できるよう旅行日程等の調整をお願いいたします。

2017-2018年度カレンダーの完全版は2017年6月に配布されます。

- [新学年度生徒始業日](#) : 2017年8月21日
- [キスティヴァル](#) : 2017年10月28日
- [秋期休暇](#) : 2017年10月29日～11月5日
- [冬期休暇](#) : 2017年12月16日～2018年1月8日  
(生徒の始業は2018年1月9日からです)
- [春期休暇](#) : 2018年3月24日～31日
- [ゴールデンウィーク休暇](#) : 2018年4月28日～5月6日
- [生徒の最終登校日](#) : 2018年6月13日

## 理事長よりご挨拶

### 何のために学ぶのでしょうか?

どのように、高いレベルの教育を受け、素晴らしい知識やスキルを身に付けても、それを使わなければ意味がありません。自らの中に閉じこもって、実社会に身を置かなければ、それらは生かされません。しかし、それらを自分自身の利益のためにのみ使うのであれば、どうでしょうか?

前号でも述べましたように、KISTのミッションは‘人格的に秀でた有能な若者’を育て、彼らが実社会で‘より良い、より平和な世界を築くこと’に貢献すること、真のエリートを育てることをその目的としています。

幸運なことに皆さんは質の高い教育を受けられる機会を与えられています。高いレベルの教育で得たものを自分自身のためだけでなく社会のために役立てる者が真のエリートです。今、世の中は自身の利益のみを考えている人で溢れています。皆さんは真のエリートを目指して下さい。

**Yoshishige Komaki**  
Board President

**mission**   
K. International School Tokyo provides academically motivated children from diverse cultural and social backgrounds with high quality education in a safe and nurturing environment to develop **competent and moral** individuals who make meaningful **contributions** to our global community.

Kインターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった学習意欲のある子どもたちに、安全で人をほぐす環境の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する、人格的に秀でた有能な若者を育成する。

*learning for life*

# キスティヴァル2016

学校コミュニティの皆様のご協力、ご貢献のおかげで10月22日に開催されたKISTival 2016は大成功でした！今年度のKISTival が楽しく、収益面でも成功したイベントにすることにご協力くださいました皆様に心からの感謝を申し上げます。



さて、今年から入場口とステージのKISTivalバナーが新しくなったこと、皆さまお気づきになりましたでしょうか？ 大きく高い位置に設置された入場口のバナーは道路からも大変目立つため集客に大いに役立ち、入場者数は3000人を超えました。ステージ用の新しいバナーも素敵なデザインでステージに花を添えてくれました。これらのバナーは制作から設置まで全てK1のHosono Familyからのご寄附によるものです。Hosono Familyに心から感謝申し上げます。



保護者ならびに生徒の皆様、来年度のKISTivalへの前向きなフィードバックを、[sayoko.naito@kist.ed.jp](mailto:sayoko.naito@kist.ed.jp)までお願いいたします。

総収入: 8,512,694 円 ただし Contribution 未払 120,000 円を含みます。  
 総経費: 2,611,971 円  
 収益額: 5,900,723 円 ただし Contribution 未払 120,000 円を含みます。



- 総収入には事前および当日のチケット・ラッフル売上、当日現金売上、入場料、寄付金、協賛広告、スライダー・フリーライト・ハス、Contribution、プロフェッショナルブースや学習院女子大学の出店料、Café Tomato の寄付分が含まれます。
- 総経費にはフード・アクティビティ経費、チケット・広告印刷、各種レンタル代、廃棄物処分費、デコレーション経費、各種資材費、Café Tomato やプロフェッショナルブースや学習院女子大学の出店による売上精算分、Tassel や Habitat for Humanity の売上精算分等が含まれます。

各ブースの詳細は以下の通りです。

ブース	学年	活動	売り上げ	経費	純利益	
保護者	K3	Face painting	¥108,625	¥0	¥108,625	
	G1	Drinks	¥468,745	¥0	¥468,745	
	G2	Korean food	¥246,286	¥0	¥246,286	
	G3	Halloween snacks	¥397,543	¥0	¥397,543	
	G4 & 5	Bazaar	¥776,990	¥0	¥776,990	
	G6	Air slider <sup>1</sup>		¥605,856	¥199,674	¥406,182
		Game 1				
		Game 2				
	G7	Japanese food	¥234,620	¥0	¥234,620	
	G8	American food	¥239,000	¥0	¥239,000	
	G9	German food	¥182,443	¥0	¥182,443	
	G10	Chinese food	¥271,446	¥0	¥271,446	
G11	Italian food	¥253,225	¥10,812	¥242,413		
G12	Indian café	¥152,250	¥0	¥152,250		
生徒	G6A	Musical games	¥8,500	¥0	¥8,500	
	G6B	Bowling	¥38,875	¥0	¥38,875	
	G7A	Bubble tea / Soda	¥76,750	¥0	¥76,750	
	G7B	Bag toss / Nerf game	¥24,250	¥6,102	¥18,148	
	G8A	Soccer challenge & bottle flip	¥20,125	¥0	¥20,125	
	G8B	Game booth	¥29,250	¥0	¥29,250	
	G9A	Game booth	¥129,250	¥0	¥129,250	
	G9B	Chocolate bananas	¥126,250	¥0	¥126,250	
	G10A & B	Haunted house	¥157,875	¥23,700	¥134,175	
	G11A & B	S'mores	¥45,750	¥12,000	¥33,750	
スタッフ	Staff 1	Philippine BBQ	¥425,625	¥83,486	¥342,139	
	Staff 2	Thai food	¥100,750	¥36,008	¥64,742	
	Staff 3	Crepes & smoothies	¥84,300	¥22,779	¥61,521	

<sup>1</sup> G6 Air slider: 売上にはフリーライトハス売上を、経費にはスライダー・レンタル費、フリーライトハス用ハンドを含みます。



## エレメンタリースクールニュース

### IB学習者像の…実践？

私たちはしばしば優しい、親切な行いについて耳にします。また、このような行いはニュースに取り上げられる事も多々あり、その度に、人間に対する信頼が回復した、意見を聞くこととなります。このような親切な行いは私達が思う以上に頻繁に起こっているのだと信じたいです。そして親切な行いに直面したり、聞いたりする度に、IB学習者像と関連付けずにはられません。以下の行いが表している学習者としての姿を皆さんはお分かりになるでしょうか？

- 数週間前、G5の生徒たちがTech Campから学校に戻る際、数人の生徒たちがお年寄りに席を譲っていたと聞きました。
- マンションのエレベーターに乗った時、すでに両手が荷物で塞がっていた私に、小さな子が降りる階を聞き、代わりに階数ボタンを押してくれました。
- 先日の家族旅行で、ウォータースライダーの前にいた小さな女の子が、お母さんに、どうやって水がスライダーの上まで運ばれたのかを聞いていました。

# Random Acts of Kindness

- 学園祭(KISTival)で、来場者の方が気づかずに落とされたチケットを生徒が拾い、落とし主にすぐに届けたという話を聞きました。

これらは私達の身の回りで常に起こっているIB学習者のあるべき姿です。教員たちも常に望ましい姿の模範を示し、学校で起きているこのような例を生徒に知らせるようにしています。皆様もこのような場面を目撃した時は、是非お子さんと共有してください。学習者像を体現するこれらの場面に居合わせることができた時、私の顔にも自然に笑みが浮かんできます！

**Kevin Yoshihara**  
Elementary School Principal

## PYPニュース

### 世界への窓

PYPコーディネーターとして、私は様々な学年の探求単元の進み具合の確認に多くの時間を費やします。各クラスがそれぞれの学習の成果を発表する方法に廊下や掲示板への作品掲示があります。これらの掲示のおかげで、これまでの単元学習の成果を子供たちの目を通して追体験することが出来るのです。

授業で何が行われているのか十分に理解している私でさえ、複雑で、様々な分野と相互関係にある概念に対する生徒の理解度の深さに驚かされます。そして、驚きと共に、若年の生徒たちにとって自身の学習に対する理解や、表現を他の人達と共有し、受け入れてもらうことの重要性を強く感じます。是非皆さんにも学校中いたるところにある生徒の作品をご覧ください、生徒たちと様々な概念や考え方、様々な行いについて会話していただきたいと思います。このような会話は生徒たちの未来につながる第一歩です。このような会話を周囲の人たちとすることで、生徒たちは世界へと踏み出し、いずれ地域社会や世界に前向きで価値ある貢献ができる立派な個人へと成長するのです。

**Clay M. Bradley**  
PYP Coordinator



## K1による、正しい歯の磨き方



K1では、私たちの学習を手伝ってくれるコミュニティの人々についての単元の一環として保護者の皆さまがボランティアとしてそれぞれのお仕事内容についてお話をしてくださいました。Hugoのお母様は歯科医としてのお仕事についてお話をくださり、歯の正しい磨き方を指導してくださいました。まず、歯の外側(唇に面しているところ)を磨き、次に歯の内側(舌に面しているところ)を磨き、最後に上と下(食べ物を噛む部分)を磨きます。また、健康でいるために歯の管理をすることの大切さについてもお話してくださいました。

工作では、アイスクャンデーの棒とスポンジを使ってそれぞれが歯ブラシを作りました。スポンジを棒に糊付けして乾くのを待ちました。糊が乾いた後、紙で作り、ラミネートした口・歯の上に、食べ残しでの汚れをホワイトボード用マーカーで描き入れ、子どもたち自作の歯ブラシできれいに磨きました。子どもたちはHugoのお母様に教えていただいた知識をしっかりと活かし、汚れた歯をしっかりときれいにしました。

また、その週にliteracyで学習していた文字が“T”だったので、合わせてtooth、teeth、toothbrush、toothpaste、など、Tで始まる新しい単語も学習しました。

**Claire Yoneyama**  
K1A Teacher



## K1とK2ニュース

### Buddy readingの時間

KISTの小学校・幼稚園では一週間に一回、Buddy Readingの時間があります。上級生のクラスと下級生のクラスがペアになり、年上の子ども達が年下の子ども達に本を読んだり、お話をしあげたりすることができます。

K1クラスでのBuddy Readingの時間はこれとは少し違っています。K1には2クラスあり、G5BクラスがK1AとK1BのBuddyクラスになっています。G5Bクラスと一緒に、大きなお兄さん、お姉さんに囲まれて、K1クラスの子ども達はたくさん事ができます。

前回の'Who We Are'のユニットでは、K1Bクラスの子ども達は、G5Bクラスのお友達と一緒に、学校の周りを散歩して、学校の周りには何があるのかを調べました。また、K1Aクラスの子ども達はは大きくなったら何になりたいかについてG5Bのお友達と話し、一緒に工作をしました。

また、G5Bの生徒たちは、K1クラスの子ども達のMathやLiteracy活動もサポートしてくれています。特に目を引くのは、G5Bクラスの生徒たちが自然に小さい子ども達の事を気づかっている点です。G5Bの子ども達は自分たちの休み時間にK1クラスに来て、おやつ準備を手伝ったり、トイレで声をかけたりと自分たちでできることを見つけて、小さな子ども達が学ぶのを手伝ってくれています。

K1クラスの子ども達が、自分のG5Bパートナーの事を慕い、見かけると名前を呼んだり、プレゼントを作ったり、手紙を書いたり、帰宅後もお父さん、お母さんに話をしたりするのを見ることはとても嬉しいことです。

たとえ、家庭では一人っ子であっても、学校で子ども達はこの活動を通して、お兄ちゃんお姉ちゃんと楽しく過ごしたり、小さな子ども達の面倒を自然と見られるようになったりしています。

### 幼い子どもたちはどうやってものごとを学ぶのでしょうか？

幼い子ども達は色々なことを自分で経験することでたくさん事を学んでいき



K1A

ます。ベンジャミン・フランクリンは、"Tell me and I forget, teach me and I may remember, involve me and I learn."と言っています。これは私達全てに当てはまりますが、自分達の身の回りの事について学んでいる幼い子ども達にとってはよいです。K2クラスの子もたちは現在、'How the World Works'のユニットで色々な物質やその性質について学んでいます。子ども達は自分の目で見て、手で確かめたり、感じたり、匂いを嗅いだりして違う種類の物質について学び、色々な実験をすることで、それらについての学びを深めていきました。そして、子ども達は自分の船を作りました。自分たちの学んだ知識を思い出しながら、様々なサイクル品を使用し、自分の船は浮かぶだろうと思って作成しました。Kindergarten playgroundにて進水式が行われました。子ども達の船は浮いたり、残念ながら、沈んでしまったりしました。この経験から、K2クラスの子もたちは何をすると船が浮いて、何をすると船が沈んでしまうのかをより深く学ぶことができました。

幼い子ども達の学びを援助するときは、彼らの身の回りの事を使いながら、彼らにとって意味のあることを学んで行けるようにする事が大切になってきます。たとえば、カレンダーを使いながら、日々の出来事に関して話したり、曜日や日付について話したりすると、同じ数字でもカレンダーにある数字は読み方が違うことに気がつくことができます。一緒にレシピを見ながらパンケーキを作ることによって、数を数



K2A



K1B

えたり、測ったり、また、容量にも目を向けることができます。色々な研究から、本を読んだり、本が好きだったりすることは、子ども達の学習を助けることが知られています。私たちはみな、子ども達が本好きになって欲しいと思っています。幼い子ども達は、楽しい！と思えることからたくさん学びます。自分たちの経験からも言えるように、全く新しい世界へと連れて行ってくれるお話を読んでもらうことは、幼い子ども達にとってとても素敵なひと時であるはずで。どうぞお子さんと、おやすみ前の、または他の時間にお話の時間を設けて頂ければと思います。お話の後で、お子さんと一緒にお話について、色々語り合ってもらえればと思います。お子さんにとって、読んでもらった本に関して自由な質問形式でお話をする時間は、理論的に物事を考える助けとなったり、読解力を高める助けとなったり、子ども達の会話力を高めるのにとっても役立ちます。子ども達は同時に、文章には意味があり、文章は物事を伝える手段であり、文章を書くこと、書けるようになることの重要性についても学ぶことができます。

もうすぐ、冬休みが近づいてきています。このお休みの間にお子さんと、楽しい時間を過ごし、それらを意味のある学びの時にして頂けたらと思います。

### Eri Ozawa

Early Childhood Coordinator (K1, K2) / K1B Teacher

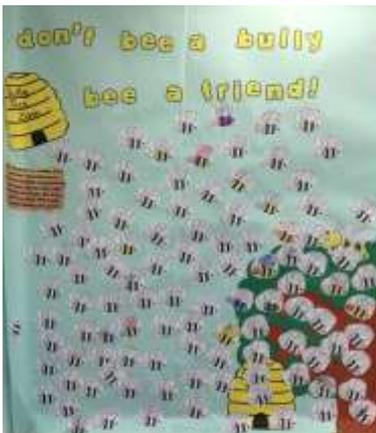


K2B

## いじめ防止活動



皆さん、こんにちは。エレメンタリースクール生徒ケアコーディネーターのKana Furnivalと申します。私の役割は大きく3つに分かれています。まずは、行動や感情面に問題を抱えている生徒の相談にのること。次に、いじめ防止のような社会性や感情の発達に関わる分野のプログラム導入において、先生方をサポートすること。最後に、特定のニーズを持った生徒に応えるためのIEP、個別教育プランの作成における教員への支援と、その効果測定です。



英国のいじめ防止週間を祝うため、KISTのエレメンタリーホワイエに“Don't be a bully, be a friend”（いじめをしないで友だちになろう）と銘打った掲示を行いました。先生方や生徒たちもいじめを止める方法や、友情の大切さに関するコメントを寄せてくれました。

また、Ms Thomas、Mr Miller、Ms Cat とボランティアのG4による自作劇の上演を含むいじめ防止集会を企画しました。この集会では劇に続き、G4とK2Aの生徒全員による、言葉の力を使っていじめを止めることができるというメッセージを込めた、オリジナルソング、“Power for Good”を歌いました。Mr Collins と Mr Millerが歌に生演奏を添えてくださり、Mr WilsonがK1からG5の生徒たちに歌詞を教えてくださいましたため、最後には皆でこの歌を合唱することができました。Mr Collins と Ms Karen も、生徒たちがステージで完璧なパフォーマンスをし、この大きなメッセージが皆に伝わるよう、音楽の時間を使って指導してくださいました。皆様のお子さんがこの集会をきっかけに、いじめ防止について考えるお手伝いのできたなら嬉しく思います。



**Kana Furnival**  
Student Care Coordinator (Elementary)

## G1Bのかぼちゃ彫刻

秋が深くなっていく中、G1Bの生徒たちはハロウィーンの伝統であるかぼちゃ細工を楽しみました！生徒たちはこの作業の様々な場面で算数の知識を活かしました。生徒たちはかぼちゃを測る単位として何(グラム、キロなど)がふさわしいかについて話し合い、重さを推測し、その後実際に測ってみました！

生徒たちそれぞれが、かぼちゃの顔のデザインを描き、一番良いと思うものに投票しました。その際にもデータ管理—投票をどのように集計するのが最適か、について話し合いました。結果としてタリー・シート(画線法)を選択しました。生徒たちはかぼちゃの中に手を入れて不思議な中身を取り出すのを楽しみました。生徒たちは自分たちが選んだデザインが実際にかぼちゃに彫り込まれていくのを楽しみながら眺めていましたそしてお楽しみの最後には、見事なジャック・オ・ランタンが完成しました！

最後に、生徒たちはかぼちゃの中に種がいくつあったか推測・記入しました。Ms Campbell は種をすべて持ち帰り、オーブンで焼き、塩を振った後で、実際に(おおまかな数を!)数えてみました！私たちのかぼちゃの中に400個以上の種が入っていたなんて信じられますか？種は、次の日みんなでおやつとして美味しくいただきました！

G1B は北アメリカの伝統行事で楽しく算数の知識を活かすことができました！

**Jennifer Campbell**  
Grade 1B Teacher



Xintong, Luna, Tristan, Jiei



Lauren, Max, Tyler



Pimpisut



G1Bとクラスのジャック・オ・ランタン



## 未踏の地の探査が私達の世界にもたらしたもの

G4 は今学期のはじめに、最初の探求単元である「探査と発見」の締めくくりとして、幸運にもゲストスピーカーをお迎えすることができました。今回お迎えしたのはハーバード大学の博士課程に在籍し、日本のロケット史研究のため現在東京にいらしているMr Subodhana Wijeyeratneです。氏の講演テーマは「未踏の地の探査が私達の世界にもたらしたもの」で、最近の宇宙開発から近世のグローバル化の起源について多岐にわたるお話をしてくださいました。

生徒たちは'Mr Subo'の生き生きとした講演スタイルと、古代地図から不思議な生物(皆のお気に入りにはホシバナモグラでした!)などのワクワクする画像を心から楽しみました。講演中、生徒たちの知識欲は尽きることなく、お聞きしたことや見たものについて熱心に質問していました。残念ながら、時間の都合で、Mr Subo はその場では全員の質問に答えてくださることはできませんでしたが、後日、ご親切にメールですべての質問にお答えくださいました。以下は生徒の一人がした興味深い質問例です。

**生徒:** 火星に行きたいと思いませんか？

**Mr Subo:** いいえ、思いません！私は地球が大好きですし、火星はただの赤い砂漠の星なので、しばらくしたら退屈してしまうと思います。でも、火星には太陽系で最も大きい火山(20km以上の高さです！)や、最も大きな渓谷(全長数千キロで数百メートルの深さがあります！)と、2つの月を持っているので、もし行く人がいるなら、素晴らしい時を過ごせるでしょう！

このイベントが大成功に終わったので、今後もG4Iにゲストをお迎えし、探究心と知識のあるPYP学習者を育成したいと思います。

**Bethan Thomas**  
G4A Homeroom Teacher



## エレメンタリーELS

### 算数言語

算数は認知力の発達、そして全ての人の学校生活、そして卒業後にも欠かせない基礎となるものです。算数を学習する重要性は知られていますが、同時に、算数の学習は、言語力を必要としない計算のみのものであると考えられがちです。しかし、算数で学ぶ全てのものは概念や理論を基にしており、学習と習得に言語力は欠かせません。ですから、算数の学習では新しい用語も多く出てきますし、概念について話し合ったり、理論を説明したりするのに多くの言葉を駆使します。生徒たちの算数学習をサポートするためにKISTで行っていることは大きく分けて二つあります。一つは、学習内容や取り組んでいる問題について話し合う時間をとること。そしてもう一つは、これら話し合いを可能にし、より概念についての理解を深められるよう、必要な用語をはっきりと示す・提供する事です。これらの写真は、エレメンタリーで、話し合いをし、算数用語を指導する際にいつも行っている事を表したものです。

ご家庭ではどのようなサポートが可能でしょうか？英語を第2言語とする子供たちに算数を指導することの権威である、カリフォルニア大学のJudith Moschkovich は算数指導における4原則を提唱しています。これら原則の最後に、氏はこのように述べています：「家庭での言語は算数的な論理性とコミュニケーションの為の基礎を提供している」。ですから、ご家庭でお子さんから、学校でしていた算数についての話・議論について母国語で報告を受けたり、話し合いを続けたりするとき、皆さんはすでにお子さんの算数的な概念の発達や、論理思考を伸ばすお手伝いをしてくださっているのです。

**Rachel Parkinson**  
Elementary ELS Coordinator / G5 ELS Instructor



Mr TimのLEAPクラスで学習している2BのVardaanとMadhavは「イコール・釣り合う」という算数の概念を表す言語の図で表しています。

#### 参考文献:

Burns, M. (April, 2006). Marilyn Burns on the language of math. *Instructor*, (41-43).  
[http://www.mathsolutions.com/documents/2006\\_Language\\_of\\_Math\\_Instructor.pdf](http://www.mathsolutions.com/documents/2006_Language_of_Math_Instructor.pdf)から抜粋

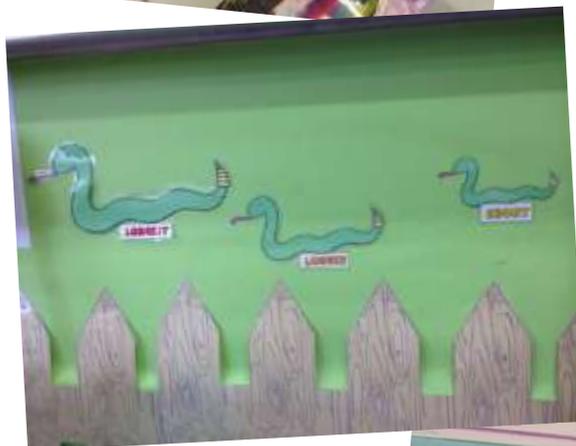
Moschkovich, J. (2013). *Principles for Mathematics Instruction for ELLs*. Stanford University.  
<http://ell.stanford.edu/content/supporting-ells-mathematics>から抜粋



G5BのDiyaが単語バインダーの算数の部分を見せてくれます。G5の生徒たちは単語バインダーを使って重要な語句と一緒に暗記に役立つ例文や絵などを記録しています。

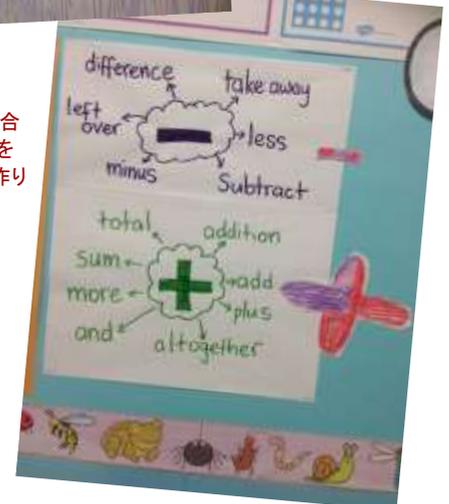


G5BのYuseiとTatsutoが12の段の掛け算のパターンと、そのパターンを使って、割り算をどのように解けるかについて話し合いをしているところ。



K3Bの教室にあるラベルされた絵の数々は、長さを比べる時に使う概念や、それについての議論に使う語句を定着させるために使われています。

K3Bの生徒たちは皆で力を合わせて足し算と引き算の話をするときに使える単語表を作りました。



## LEAPニュース



KIST コミュニティの皆さん、こんにちは！  
LEAPの申し込み(教科の追加、受講回数の変更など)に関して若干の混乱がありました事をお詫びします。現行のシステムでは同じ方からの2度目以降の申し込みには対応できないため、もし、既に一度申込みをされていて、コースの変更又は追加を希望される場合はシステム(オンライン申込み)ではなく、直接 [leap@kist.ed.jp](mailto:leap@kist.ed.jp) 宛にお願いいたします。皆様のご理解、ご協力に感謝致します。



LEAPから保護者の皆さんへの授業進度報告の方法が少し変わります。Semester 2からはポートフォリオを作成し、お家に持ち帰り保護者の皆さんにご覧頂く現行の方法は廃止します。2017年1月からは生徒のA4フォルダに毎回授業のプリント等を入れて持ち帰って貰う方法を採用します。また、Semesterに3回、LEAPからのお知らせを学校のメールシステムから配信致します。



最初のお知らせはLEAP開始後2週間程度で配信予定です。内容はLEAP講師の自己紹介や、授業内容などになる予定です。2回目のお知らせはセメスター中旬に、授業

で扱った内容や生徒たちの進捗についてお知らせします。3回目はセメスターの終わりに授業でカバーした詳細な内容や、生徒の進捗、達成度、休み中お子さんを継続的にサポートして頂く方法などをお知らせ致します。

上記の変更点により、講師からの直接の授業説明や授業風景の写真を通して、保護者の皆さんにLEAPの授業内容やお子さんの進捗についてより理解して頂けることを望んでおります。

皆さんの継続的なサポートに感謝しております。もし、何かご質問がございましたらご遠慮無く[leap@kist.ed.jp](mailto:leap@kist.ed.jp)にご連絡ください。皆さんと一緒に学んでいけることを楽しみにしています！

**Amber Guarente**  
LEAP Coordinator



## CAニュース

### サービス委員会

#### ベルマークで10万円貯めて学校備品を買おう！

日頃からベルマーク活動にご協力をいただきありがとうございます。現在、KISTのベルマーク預金残高は84,095円です。今年度は新たに16,000円を集めて計10万円を達成し、その預金を使って学校備品を購入することを目標にしています。ベルマークは文房具や食品、雑貨など2000種類以上の商品についています。それぞれポイントが付いており、切り取って集めることでベルマーク預金を貯めることができます。ベルマーク預金で学校備品を購入すると、その1割がベルマーク財団に寄付され、災害被災校や発展途上国の援助に役立てられます。

買い物をした品物にベルマークはついていませんか？ベルマークを見つけて集めましょう！見つけたベルマークは切り取って学校へ。学校受付とオフィス横にベルマーク用回収箱が置いてありますので、そこに入れてください。

CA サービス委員会



## KIPSからこんにちは

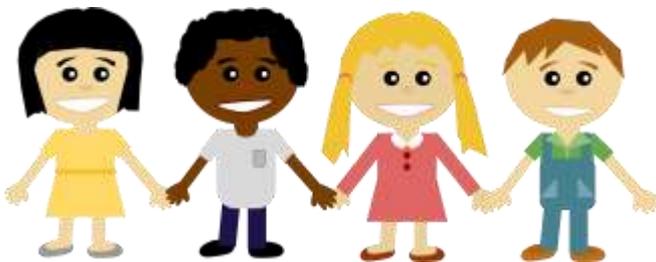
Crescenda Longと申します。KIPSでP2アシスタントを始めて三週間が過ぎました。まだお会いしていない皆さん、こんにちは！もうすでにお会いしたことのある皆さんには、新しい環境になじむためのサポートに本当に感謝しています。

私はアメリカの北東部にあるペンシルベニア州のBirdsboroという小さな町の出身です。また、以前5年ほど日本で暮らしていたことがあります。最初はJETプログラムの補助教員として愛媛県に赴任し、その後、茨城県のAmityという英語学校で教師をしていました。直近ではアメリカのプリスクールで教員アシスタントをしていました。インターナショナルプリスクールに勤務するのも、東京で暮らすのもこれが初めてです。正直に申しますと、私は「田舎の娘」なので、まだ何とか都会のペースになじもうと努力しているところです！ただ、幸運にもKIPSでは我が家のようにくつろいだ気持ちで過ごす事が出来ています。

子供たちは生まれながらに素晴らしい宝です。毎日、子供たちの尽きることのないエネルギーや取り巻く世界への好奇心に接するたびに、教師になると心に決めた日のことを思い出します。私は毎朝明るく、無垢な子供たちの笑い声に迎えられ一日を始められるというこの上なく幸せな日々を過ごしています。本当に、これ以上素晴らしいことはあるでしょうか？KIPSスタッフの注意深い監督下で子供たちは清潔で近代的な新校舎で楽しく遊び、学ぶことができます。KIPSは交通量の多い通りに面しているのですが、(そして少なくとも最近はずっと工事中です！)建物の中は静かで、平穩そのものです。これは教室に使われている優しい中間色や清潔さ、スタッフの効率良い動きを含め、保護者の皆さんやスタッフの、生徒に最高の環境を提供したいという気持ちがもたらすものだと思います。

子供たちが自身の人格を形成し、日々成長する場に居合わせることができることは本当に得難い経験です。このような明るく温かな環境でやりがいを持って働くことができることをとても光榮に思い、皆さんと共に学んでいけることを楽しみにしています。

**Crescenda Long**  
KIPS P2 Teaching Assistant



## ニューフェイス

前号の*The Comet*発行後に新しいスタッフ—Crescenda Long—が加入しました。Ms Longは再オープンしたKIPSの2才児クラス、P2の教育アシスタントとして勤務します。学校コミュニティを代表して、Ms Longを歓迎し、KIPSでの毎日を楽しんでくださることを望みます。



**Crescenda Long**  
Teaching Assistant  
(KIPS P2)

## MYPニュース

### 意見の交換を通して活気づいたMYP保護者ワークショップ

9月以降、KISTではMYP生の保護者を対象としたワークショップを2回開催しています。保護者の皆さんにMYPの学習内容の一部をを実際に体験して頂けるよう、ワークショップは英語で行われ、日本語の通訳も提供されました。

第1回はKIST新入生の保護者や、MYPを新たに始める生徒の保護者を対象に実施されました。この回では主に以下3点についてご説明しました:どのように評価が行われているか、MYP奉仕活動について、そしてセカンダリーの成績表についてです。参加された保護者の皆さんはKIST教員がどのように生徒を成功に導くための評価を行うかについて熱心な意見交換に参加されました。また、実際に奉仕活動を行ってきた生徒たちから直接活動内容についてお話をさせていただきました。また、セカンダリー校長のから、MYP成績表の特徴についてのお話をさせていただきました。

2回目のワークショップは、G10の保護者の皆さんを対象に実施され、MYPの集大成となるG10のパーソナルプロジェクトで求められるものについてお話をさせていただきました。ここでも、昨年パーソナルプロジェクトを成功裏に終わらせた生徒たちが良いパフォーマンスに必須の条件について、自身の体験談を保護者の皆さんに共有しました。

これら保護者の皆さんを対象としたワークショップは、他のご家族と交流し、MYPの学習について意見交換をしていただける非常に良い機会だと思います。保護者の皆さんにMYPの学習や、学習がお子さんの将来に向けてどのような意味を持つのか知っていただくことは、とても有意義なことなのではないかと考えています。

**Robert White**  
MYP Coordinator



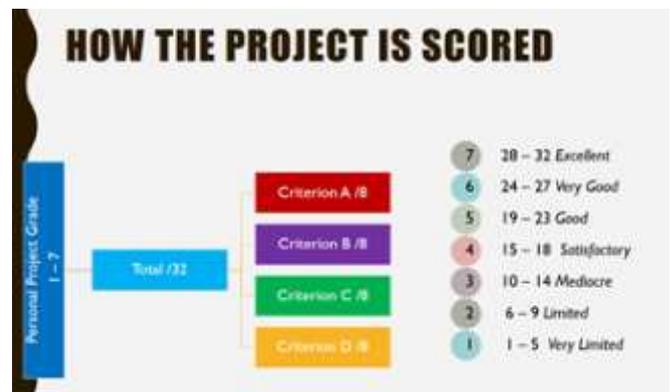
MYPを新たに始める生徒の保護者の皆さんが、評価、奉仕活動、MYP成績表について意見交換を行います。



Riko (G11B)が自身のパーソナルプロジェクト経験を保護者の皆さんにご説明しています。



始めてMYPに触れる保護者の皆さんがプログラム評価について説明を受けます。



MYPパーソナルプロジェクトプロジェクトの評価方法。

## 6年生MYP美術

### 文化的な自画像-肖像画

6年生は、自身や、自身の文化的背景を表現する方法を学んでいます。その一環として、自身の感情や、属する文化の象徴を効果的に反映させるための色彩の使用を学んできました。

また、生徒たちはAngelica Dassの作品群を通して、「あらゆる肌の色に宿る美しさ」についても学びました。作品群を通し、全ての生徒が異なる個性を持ち、学校の多様な文化はこのことにより豊かさを増しているということについて話し合いました。生徒たちは自身の肌の色を再現するためにジャーナルの練習ページを使って水彩についての知識を身に付け、自身の達成度についての振り返りを行いました。

生徒たちは総括的評価のCriteria A/B課題として、これまで学んだゴッホやフリーダ・カーロの作品を参考に、自身が選んだ色や技法を用いてA3の自画像を完成させました。

Dassの「肌の色に宿る美しさ」プロジェクトの詳細は以下リンクからご覧いただけます。

<http://www.angelicadass.com/humanae-work-in-progress>

**Luke Jones**

MYP/DP Visual Arts Teacher



Keanu

Aditya



Mai

Nehal



Shona

Harunosuke



Hotomi

Jiaying

Hamsika

Tia



Hajin

Eanya

Sola

## KIST名誉の壁



本館ロビーの、'Wall of Honour' (名誉の壁)に気づかれた方はいらっしゃいますでしょうか？これは、G6からG8の中で、Learner Profile (学習者像)を体現した生徒を表彰するために3年前に導入された取り組みで、各クラスから男女1名ずつがクラスメートによって推薦され、選ばれます。学期の終わりごろに受賞者の発表と、表彰状の授与を行います。その後、受賞者は自身の達成した「足跡」ならぬカラフルな「手形」を壁に残し

ます。

これから更に増えていくであろう、これらのカラフルな手形をお楽しみください。



## 水泳選手



10月22・23日にSt. Mary's International Schoolで、KIST以外にも17校が参加したBuccaneers 水泳招待試合が開かれ、KISTを代表して僕とIgor (G10A) が出場しました。たった2名での出場でしたが、僕達で6つのメダルを獲得し、KISTを18校中12位という順位に押し上げることができました。

僕たちは2日間で全力を尽くし、その結果、僕は50m自由形、100mバタフライ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、そして200m個人メドレーで金メダル、そして200m自由形で銀メダルを獲得しました。Igorも200m個人メドレーと50m自由形に出場し、それぞれ4位と5位という成績を残しました。

ました。

Xiangyu (Tom) (G10A)



この試合は僕達にとって他校の生徒たちと楽しい時を過ごせた、良い経験となりました。

## World Scholar's Cup

### 東京からタイ、そしてアメリカへ: World Scholar's Cup 体験

World Scholar's Cup に参加するのは初めてで、どのようなものか・何が起るのか全くわかりませんでした。僕は **Kishore (G7A)** と **Aditya (G8B)** と3名一組でチーム506 に所属していました。僕達3人も、このようなイベントに参加するのは初めてでした。

東京大会での一日目はとても慌ただしく過ぎました。まず、開会式で主催者からイベントと競技の簡単な説明がありました。開会式が終わった段階で僕たちはすっかりこれから先何が起るのか全くわからず、緊張で疲れてしまいました。僕達の周りの参加者は皆いろいろな参考書を使って予習をしていて、僕達がこの場で最も準備不足の参加者であることに気付かされました。開会式の後は小論文書きや、scholar's challengeに参加しました。いろいろな活動に参加し、課題を終わらせるごとに、何が起っているか全くわからずにいる僕達の緊張と不安は益々高まってきました。なんとかお昼休みまで持ちこたえた時には全員諦めの気持ちでいっぱいでした。初日の最後には他のチームとのディベートがありました。

二日目はチームで様々な教科からいろいろな内容が出題されるクイズ大会に参加しました。後半には模範ディベートと、一芸に秀でた参加者による演芸がありました。そして二日間のイベントの最後を飾る表彰式が行われました。僕達のチームは準備不足で、すべての競技で惨敗したことを自覚していたため、入賞は全く期待していませんでした。しかし、嬉しい驚きとともに、チームとして合計8つのメダルを獲得し、バンコクでの世界大会に参加する権利を勝ち取りました。

僕達のチームは世界大会にも参加することにしましたが、



Nimit, Kishore と Aditya

今回は良い結果を残せるよう、しっかりと準備を行うことを目標にしました。今回は夏中、サマースクールの期間中も予習に費やしました。世界大会での競技は前回のものと同様でしたが、今回はしっかりと準備をしていたので、自信を持って取り組みました。世界大会では、東京大会と同じような競技の他に scavenger hunt と scholar's ball と呼ばれる交流イベントが行われました。バンコクでの大会ではチームとして合計14個のメダルを獲得し、決勝大会となるアメリカ大会で成果を残せることを楽しみにしています。

今回、僕はこの大会に参加できて本当に良かったと思っています。この大会を通してたくさんの新しいことを学び、世界中の人達と交流することができました。始めは準備不足などもありましたが、チームワークが勉強と同じくらい大切だと実感しました。皆さんにも来年はこの大会に是非参加することをおすすめします。この大会は人前でのスピーチや小論文の技術、論理的思考とともに、チームメイトと協調する能力も伸ばすことができます。そして、もしメダルを獲得できなくても、アルパカのぬいぐるみは絶対にもらえます！

Nimit (G9B)

## 2016年 学校説明会

10月15日の土曜日に入学希望者の為の学校説明会を開催しました。説明会は午前の英語、午後の日本語、の二部構成で実施しました。今年の説明会には、合計で200家族以上が来校し、学校やカリキュラムについての説明や、校内ツアーにも参加されました。

KIST 在校生の兄弟姉妹が入学を希望される場合は、以下の出願締め切りをご確認ください:

1月入学の出願締め切り: **2016年11月18日**  
4月・8月入学の出願締め切り: **2017年1月9日**

上記締切日を過ぎた場合でも願書の受付は行います; しながら、この場合、学年によってはすでに空席がない可能性がありますことをご了承ください。



出願過程の詳細は、以下リンク先にありますアドミッションハンドブック(出願の手引)をご確認下さい。

<http://www.kist.ed.jp/node/41>

**Craig Larsen**  
Director of Admissions and Personnel

## セカンダリーELS

### KISTでのアカデミックライティング(小論文)

アカデミックライティング(小論文)講座に参加しているG6、7、8の生徒たちは英語のライティングスキル向上のため毎朝とても熱心に勉強しています。今学期、G6からG8の生徒たちは、これまで主にニュースを読んだり、読書ジャーナル(記録)をつけたりすることを通してライティング力の向上に努めています。また、このコースでは、全ての学年の生徒が、異なる目的や、様々な書式、文体で書くスキルを身に付けるよう指導しています。

今年度からは学校全体で同じ添削・編集記号を導入し、生徒たちにも頻繁に間違えてしまう箇所の認識のためにこれらの記号を使用するよう推奨しています。本講座のもう一つの目的は、生徒たち自身がこれら記号を理解し、自ら書いた文章を添削・編集できるようになることです。

また、最近KISTでは生徒たちが指定された語彙リストの単語練習を行うことが出来る、[www.vocabulary.com](http://www.vocabulary.com) というオンラインプログラムへの利用登録を行いました。このプログラムの優れた点は、担任やELSインストラクターが容易に生徒の進捗を監督・確認できることです。



以下は語彙リストの学習でそれぞれの学年をリードしている生徒たちです: **Shin (G6A)**、**Tatsunori (G7A)**、**Aidan (G8A)**、**Emily (G9A)** そして **Tian Wei (G10B)**、おめでとう、よく頑張りました。

これからどんどん寒くなりますが、小論文講座の生徒たちがこれからも時間通りに暖かい教室に到着し、ライティングの学習に取り組めるよう願っています!

**Donna Linnett**  
Secondary School ESL Coordinator

## 火災避難訓練

2016年度最初の火災避難訓練が11月9日(水)に行われました。今回は、セカンダリースクールの昼休み中、本館1階caféからの出火という設定で訓練を実施しました。

今回のリフレクション:

校庭に避難集合し先生が点呼をとっている間、私語が目立った。

また、当日は深川警察署警備課および第9機動隊、災害対策課特殊救助部隊が大規模災害時における被災者救助を想定した訓練として、西館屋上からケガをした被災者を担架で救助する訓練をデモンストレーションしてくださいました。エレメンタリー生徒は屋上から担架に乗った被災者がレスキュー隊の方とともに無事降下したのを見て歓声をあげていました。また当日は警察の広報課の方からの日本語による説明を、G12のNinaがDJボリスが使う広報車に乗り英語に翻訳してくれました。Ninaありがとうございました。



# セカンダリーSRC



今年度の特別委員会のメンバーが選出されました！



## スポーツ委員会

12月5,6,7日の昼休みに、スポーツ委員会主催のhouse対抗試合が開催されます。優勝したhouse

チームにはピザパーティがプレゼントされます！！生徒の皆さんは是非参加してください！



Jin Il (G10A)

Ke Yi (G11B)

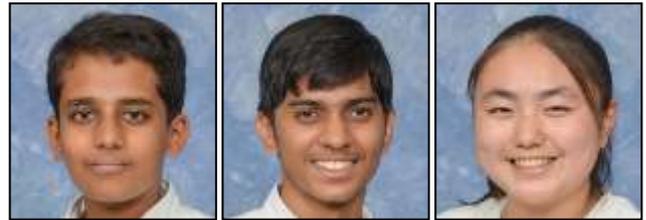
Saki (G8A)



## 放送委員

放送委員会は生徒のためのプロモーションビデオの企画・制作を行います。現在メンバー募集中です。ビ

デオ制作や人前で話すことの好きな人には何よりの楽しい経験になると思いますので、参加してください！



Armaan (G7B)

Amartya (G12A)

Michiru (G9A)



## 芸術委員会

芸術委員会は2016-2017学年度最初のランチタイムコンサートを近日中に実施予定です。コンサートで演奏・発表したい生徒の応募はいつでも受け付けています。申し込みたい生徒は委員長のIbuki (G11B)

[iy2860@email.kist.ed.jp](mailto:iy2860@email.kist.ed.jp)に連絡してください。詳細は委員会メンバーに

気軽に問い合わせてください。



Ibuki (G11B)

Ji Hye (G9A)

Michiko (G8A)

Hinako (G9B)

Miu (G11B)

## イベント予定

### Winter concert (セカンダリー)

2016度の Winter Concertは12月2日に開かれます。今年は多様なパフォーマンスが予定されています。近日中に詳細が発表されますので楽しみに！

### SRC dance

今年最初のSRC ダンスは12月14日に開催されます。テーマは…

**WINTER WONDERLAND** です。

いつもどおり、いろいろな食物と、季節を感じさせる飾り付け、そして素晴らしい音楽をお楽しみに！

皆さんの声を聞かせてください

Secondary SRC



# クラブ活動のハイライト



## 初級サッカークラブ(エレメンタリー)

毎週金曜日、私の1・2年生のチームは一週間の締めくりにサッカーを楽しんでいます！

クラブでは、まずsumo stretch、star-banana jumps やカラー・コーンを使ったゲームなどでウォームアップを行います。その後、Control! Cooperate! Communicate!" など「C」で始まる練習目標を決めるチームミーティングを行ったあとで、パスやスロー、シュートなどサッカーの基本的な動きの練習を行います。最後に、試合形式の練習と反省ミーティングで練習を終えます。今学期の練習を通して、生徒たちは自分たちのポジションをよく理解し、他のメンバーとコミュニケーションをしっかりと取りながら素晴らしいチームワークを発揮するなど、大いに進歩したと思います。

11月12日にはAmerican School in Japan での試合に参加し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。私はコーチとして、チームシャツを格好良く着こなした子どもたちが全力を尽くして試合する姿を非常に誇らしく見守りました。生徒たちが最高のスポーツマン精神を発揮している姿を見て、もっと多くの生徒たちにサッカーの楽しさを伝えたいと強く思いました。サッカーを通して生徒たちが自信と、チームスポーツをすることの喜びを感じてくれることを願っています。

Mr Ota、Mr Norwood、KISTスタッフの皆さん、そしてチームメンバーの保護者の皆さんのご協力に心から感謝致します。

**Anna Hiraoka**  
Club Supervisor



## フランス語クラブ(セカンダリー)

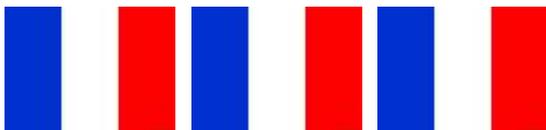
週に一度、セカンダリーの複数学年の生徒たちはリラックスした環境でフランス語を学ぶために集まってきます。授業は、生徒たちが次にフランス語圏旅行をしたときに活かせるよう！基本的なコミュニケーションスキルの習得を目的としています。KIST生は毎日の授業でとても忙しくしているにも関わらず、毎週金曜日の午後！にフランス語を学びに来る意識の高さに驚かされています。



### フランス語を話せると役に立つのでしょうか？

フランス語は世界の約2億2千万人の人々が使用する言語です。世界で使われている言語としては、中国語(北京語)、英語、ヒンズー語、スペイン語、そしてアラビア語に次いで第6位です。フランス語は「愛の言語」として世界中で知られていますが、外交・政治の言語としても知られています。フランス語は国連、NATO、国際オリンピック委員会など様々な国際機関の公用語でもあります。国際関係のキャリアを目指す生徒にとってフランス語の習得は確実に将来の可能性を広げる役に立つでしょう。

**Jessica Bouchard-Belanger**  
Club Supervisor



## 図書室ニュース

### Drop Everything And Read 2016

今年もKIST図書チームは恒例の**DEAR** (Drop Everything And Read) イベントを開催しました。週に1回、オフィスのMr Larsenの**Drop Everything And Read!** 開始のアナウンスを受けて、K1からG12の生徒と、学校全体が20分間本や雑誌、新聞などを読みました。



正門に掲示された新しい横断幕はもうご覧になりましたか？学校中に掲示されたDEARポスターはどうでしょう？図書チームより、お気に入りの本を紹介し、2017年のサクラメダル図書を促進してくれた、生徒と先生方に感謝を捧げます。



皆さん、もうセカンダリーラントールーム前に掲示されている「あなたにとって読書とは？」のDEAR横断幕に意見を寄せてくださいましたか？もし、まだなら、どうぞ、ポストイットに意見を書いて参加してください。あなたにとって読書は何でしょうか？

11月25日(金)にエレメンタリーの生徒たちはDEAR Book Character Paradeに参加し、読書の楽しさを体全体で表現しました！当日はKIPSと、近隣の2つの保育園の園児たちも観覧のため来校し、KISTエレメンタリー生の創造性と熱意に触れていました。

G4とG5の生徒たちはコスチュームコンテストに参加することができました。審査員を務めたMs HelenとMr Johnが選んだ「最も創造性のある」参加者はAyami (G5B)、

Yusei (G5B) そして Anju (G5B) と「三つ子」のKazuhiro (G4A)、Genta (G4B) とSebastian (G4B)でした。

今年のDEARに参加して下さった方々に感謝します。特に、読み聞かせのボランティアとして参加して下さった: Ms Sunanda, Rihana (G1A)のお母様、Ms Sarika, Muskaan (G5A)とVardaan (G2B)のお母様、Mr Jones, Sumire (G4A)のお父様、そして Ms Heather, Rebecca (G4B)のお母様、ありがとうございました!



お子さんと**声に出して本を読む**事は言語の発達をサポートする上で非常に良い方法です。お子さんの生涯学習のためにも、本を読む喜びへの継続的なサポートをお願いいたします。

### CAによる書籍寄付

KIST図書チームはDEARと、KISTの蔵書収集にご協力くださったCAメンバーの皆様にご心からの「ありがとう!」を伝えます。CAのご協力により、KIST図書チームは以下の書籍の購入を行いました: Sidekicked, Lumberjanes volumes 2 and 3, Princess Princess Ever After, The Singing Bones, Girls Think of Everything: Stories of Ingenious Inventions by Women, Razzle Dazzle Unicorn: Another Phoebe and Her Unicorn Adventure, The Sleeper and the Spindle, Every Falling Star: The True Story of How I Survived and Escaped North Korea, Flora and the Flamingo, そしてWilliam Shakespeare's The Phantom Menace: Star Wars Part the First.

生徒たちは既に新たな蔵書を楽しみながら読んでいます！特にRazzle Dazzle Unicornは学校に到着した途端貸し出されました！

The KIST LibraryTeam



## スタッフ10!

今回のStaff 10! では2012年9月から勤務しているAnna Holdawayをご紹介します。KISTに参加して以来、Ms HoldawayはK3のアシスタント、オフィスでのアドミニアシスタント、LEAPコーディネーターと様々な業務を歴任してきました。教員免許取得後の2016年8月からはK3B担任として勤務しています。



### ● 出身地について面白いことを教えてください。

私はメルボルンから60 kmほど離れた郊外の町、Kilmoreという所で育ちました。私が通った高校は、KISTと同じように！—今でも現地の高校卒業資格ではなく、IBプログラムを提供するオーストラリアで唯一の学校です。

### ● 世界で一番好きな場所はどこですか？

日本—だから今ここにいます！

### ● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

私の祖母たちです—両方ともすでになくなっています。一人は私が名前を受け継いだ、私の誕生前になくなった祖母。もう一人は私がこれまで会った中で最も芯の強い女性で、もう一度彼女と話したいです。

### ● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

カラオケは大得意です(笑)

### ● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

私の両親がそうだったので、私も、一度も住んだことがないにも関わらず、ニュージーランド国民です！

### ● あなたにとって一番の宝物は？

健康です。

### ● ご自分を言葉で表現すると？

とにかく楽天的。

### ● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

人生で変えたいことはあまりないのですが、十代の頃の自分に他の人がどう思うかをあまり気にせず、自分がしたいことを思い切りやるように伝えたいです。

### ● 自分を高めるために今やっていることは？

机周りの整理整頓…

### ● ファンに一言お願いします。

失敗をすることで脳はしてはいけないことを学びます。失敗を恐れずにチャレンジしてください！



KISTival を楽しむMs Holdaway(右)、Ms Hiraoka(左)とMs Lee(中央)

## オフィスアップデート

### 学校行事や活動の際の映像・画像使用

学校コミュニティメンバーが、インターネットの個人ブログやYou Tubeのような公共のサイトに学校行事などの画像や映像をアップロードしていることが判明しました。ご自身のお子さんの写真や動画、または他のお子さんでも許可を取って載せるのは結構ですが、他の方が写っている動画や画像を本人の許可なく載せることは肖像権等の法的問題に関係します。全ての学校行事、学校に関するイベントで撮影した写真や動画を、電子、紙媒体を含むメディアへ掲載するのはご自身のお子さん、および許可の取れているお友達だけとしてください。それ以外の掲載についてはくれぐれもなさらぬようお願いいたします。もしも現在許可のない画像や映像を掲載されている場合、直ちに削除していただけますよう、お願いいたします。



### 欠席や遅刻

先号のThe Cometでもお伝えしましたが、欠席又は遅刻のご連絡の際はメールでお願いいたします。



学校の方針をご支持いただいている

皆様に感謝致します。また、欠席・遅刻のメール連絡は始業前に直接オフィスinfo@kist.ed.jpまでお願いいたします。

また、ごくまれにですが、contacts@kist.ed.jp宛にご連絡を頂く場合がありますが、こちらはE-Communications配信専用のアドレスですので、学校へのご連絡の際はご使用になりませんようお願いいたします。

### 退校

時期的に、転勤や異動などで、国内外に引越されるご家族も多いと思います。お引越などのご都合で退校なさる場合は退校予定日の前、できるだけ早いタイミングでオフィスに退校届をご提出いただけますようお願いいたします。退校届は学校ウェブサイトのいかりンクから入手いただけます。



<http://www.kist.ed.jp/node/5>

## 保健便り

### 季節性アレルギー

季節性アレルギー性鼻炎は、外部のアレルゲン物質への露出後数年を経て発症することが多いため、通常4歳から6歳で診断されることが多いです。症状はくしゃみ、鼻づまりや鼻水、鼻腔から喉にかけて痰が絡まることが原因の咳や喉の不快感、目や口、肌の腫れや、うるみ、痒みなどです。症状のピークは幼児期の後半から思春期にかけてで、成人するに従って症状が改善する傾向にあります。症状を軽減させるため以下幾つかのステップをお勧めします。

#### 1 自分が思うより早いタイミングで薬を服用する

季節性アレルギーを持った子どもの場合、シーズン始まり(アレルギーの種類によって異なる)の最低でも2・3週間前に服用を始め、シーズンの終わりまで服用を続けるのが理想的です。年間を通して(季節に関係なく)アレルギーを持っているお子さんの場合、医師と相談し、症状が起きてから薬を服用するのではなく、通年での服用について検討してください。

殆どの抗アレルギー薬は発症してからより、症状の予防に効力を発揮します。これは、アレルギーの発症が免疫システムの崩壊によって起こるため、一度症状が起きてしまうと、対応が難しいためです。

コルチコステロイド点鼻スプレーは(2歳以上の子どもの)アレルギーに最も有効で、ダニや花粉などのアレルゲンに対する免疫機能の反応を弱めることによって症状の発症を抑えます。抗ヒスタミンもくしゃみや目のかゆみなどの症状を抑える役に立ちますが、発症前に体内に吸収された場合に最も効果を発揮します。

#### 2 花粉飛散量を確認する

お子さんのアレルゲンとなる花粉の種類を確認するため、医師によるパッチ・血液検査を受けることができます。特定ができれば、飛散量を確認し、薬を開始する時期や、お子さんが屋外活動控えたほうが良い日などを判断できます。

一般的に、樹木は春に花粉を飛散させ、草花は春の中・下旬または初夏に、雑草類は晩夏から初秋が飛散のピークです。

#### 3 アレルギーにおける冬の影響

季節性アレルギーを持つ多くの子どもたちにとって、少なくとも2月くらいまで症状が緩和される冬の寒さは何よりの福音です。暖冬は植物による花粉の飛散を早めることがあり、それにつられてお子さんのアレルギー発症が通常より早まる可能性があります。

お子さんの症状を悪化させるその他の天候要因: 暖かい日・風の強い日は飛散量が増えます、一方、穏やかで風邪のない日は花粉が地表に留まるため、お子さんに影響をおよぼすことは少ないです。

#### 4 5歳以上の子どもであれば、新しい治療法を試してみる

免疫療法やAIT(アレルギー注射)は週または月に1・2回3年から5年間継続して行う必要がありますが、少しずつ接触する該当アレルゲンの量を増やし、免疫機能が過剰反応しないよう慣らすことで症状を軽減させるという、ワクチン接種と同様の効果があります。

注射を嫌うお子さんには経口免疫療法があります。舌下で吸収する錠剤にはブタクサの抽出液が含まれています。この療法の効果を最大限に受けるためには、アレルゲンによるアレルギー症状がしっかりと診断できる5歳またはそれ以上の児童でなくてはなりません。一回目の内服の後、最低30分は経過観察をする必要があります、その後、緊急事態に備え、エピネフリンの自己注射器の処方を受ける必要があります。

**Stephanie Pae**  
School Nurse

#### 参考

David L. Hill, M.D., 5 things You Don't Know About Kid's Seasonal Allergies, Parents Magazine,  
<http://www.parents.com/health/allergies/seasonal/things-you-didnt-know-about-kids-seasonal-allergies/>から抜粋



## 大学ガイダンスニュース

### G12 大学出願状況

通常イギリスやアメリカなど各国の大学の2017年秋入学への出願は9月から始まり12月末または1月初旬に締め切られます。ことしのKIST 12年生の多くはこの通常の出願期間に出願しますが、10月中旬にイギリスの大学(オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、すべての大学の医学部、獣医学部の締切は10月15日)、11月初旬にアメリカの大学のアーリーアプリケーション(Early Decision/Early Action)や日本の大学の英語プログラム(早稲田大学政経学部など)に出願した生徒もいます。健闘を祈ります!

### Mrs Okude のHKUST とNYU Abu Dhabi訪問



HKUSTオーシャンビューの寮棟群

シルバーウィーク休み中の9月24日(土曜日)に香港科技大学(HKUST)を訪れ、学部インフォメーションデイに参加してきました。これはHKUSTキャンパスで行われる年

に一回の大きなイベントで、各学部の説明会、模擬授業や講演、キャンパスツアーなどが行われ、香港、中国本土、アジア各国から数千人の高校生や保護者がつめかけ大賑わいでした。HKUSTは1991年に国際的研究大学として香港に新設された革新的な公立大学で、今年創立25周年をお祝いしています。同大学は各ランキングでアジアトップにランクされ、すべての授業が英語で行われ、理工系から人文科学系まで幅広い学問分野を学際的に学べるプログラムが特徴的です。香港中心街から車で30分ほどの風光明媚なクリアウォーターベイ半島先端にあり、起伏のある土地を活かしたキャンパスになっています。忙しい一日でしたが最先端の研究やイノベーションに熱意をもって取り組んでいる教授陣や学生にたくさん会うことができました。HKUSTについての更に詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.ust.hk/about-hkust/>

10月末のドバイ旅行の際に、アラブ首長国連邦首都のアブダビにあるニューヨーク大学アブダビ校を訪問する機会がありました。NYU Abu Dhabiは2010年にオープンしたばかりの超難関国際大学で、幅広く科学とリベラルアーツを学べます。アブダビ首長からの潤沢な資金提供によって運営されており、世界中から選ばれた類まれな才能とインターナショナルマインドをもった生徒が集められています。KIST 2016年度卒業生のMotoi もそのひとりです。(24ページにある彼のレポートをご覧ください。)アブダビの新

たな国際文化センターとして文化、スポーツ、レジャー施設や住宅の建設開発が進んでいるサディアット島にあるゴージャスなキャンパスで現在約

1000人の学生が学んでいます。近くにはパリのルーブル美術館やニューヨークのグッゲンハイム美術館の分館や地元のザイド国立美術館がまもなく完成オープンします。国外からの学生の多くは卒業まで4年間の授業料その他の費用を全額または部分的にカバーする給付型奨学金をもらっています。またアブダビ校に在籍する学生は在学中にニューヨーク、上海、パリなどニューヨーク大学の他のキャンパスで一、二学期間勉強することも可能で、その際は追加費用を支払う必要はありません。このユニークな大学に関する情報は下記のリンクをご覧ください。

<http://nyuad.nyu.edu/en/about.html>

### Alumni talk by Soo Min (Class of 2010)

11月21日にKIST 2010年度卒業生のSoo Min が卒業以来初めて母校を訪問しLMCでセカンダリーの生徒向けトークセッションを行ってくれました。彼女は2015年5月にペンシルベニア大学ウオートンスクールを卒業し、その年の夏からワシントンDCにあるIT関連企業で働き始めました。最近シンガポール支店に転勤になり、リージョナルオペレーションマネージャーとして働いています。トークセッションではIBDP生としてすごしたKISTでの懐かしい思い出やペンシルベニア大学や留学先のパリのソルボンヌ大学での経験を語り、参加した8年生から12年生の生徒の質問に答えたり、アドバイスしたりしました。Soo Min ありがとう! また連絡してくださいね。



LMCで卒業生との会話



### Mrs Keiko Okude

Career and University Guidance Counselor  
Office hours: Mon, Tue, Thu, Fri 10:00-17:00  
[keiko.okude@kist.ed.jp](mailto:keiko.okude@kist.ed.jp)



NYU Abu Dhabi図書館

## 卒業生の声

Motoi はKISTの2016年度卒業生です。彼は現在New York University Abu Dhabi (UAE) 理学部の1年生として数学を専攻しています。

こんにちは！ Motoi と申します。僕は2016年の卒業生なのですが、覚えてくださる方はいらっしゃるでしょうか？KISTを卒業してから6ヶ月が過ぎましたが、こんなに短い間に人生が激変したことに自分自身驚いています。

アラビア語で“Marhaba” ウィークと呼ばれる新入生歓迎週間で、NYUAD は今年僕自身を含む313名の生徒を迎え入れました(これは本校の歴史始まって依頼最大の人数だそうです)。この一週間で新入生たちは洗濯に関するワークショップから、キャンパスツアー、世界一高いビルであるBuri Khalifaのお膝元でのパーティなど、あらゆる催しに参加しました。僕自身は2月に入試選考の一環として既に学校と、アブダビの街を訪れていたの、街並やキャンパスを再び訪れることができ嬉しく思いました。2月に会った何人かの懐かしい顔ぶれにも再会できましたが、当時より皆穏やかな表情をしています。

た。(僕自身もそうだったでしょうが、皆2月には競争心でいっぱい緊張した顔をしていました)

最初の一週間は、僕も典型的な新入生同士の会話:「名前は？どこからきたの？専攻は？」などなどの会話に参加しました。そして幸運にも多くの人たちと仲良くなることができました。でも、同時に、数学オリンピック入賞者、CEO、国を代表するスポーツ選手など、非常に多様な背景と経歴を持つ他の新入生たちに若干の気後れを感じました。このような小さな生徒コミュニティにこれほど豊かな多様性があることは、愛する母校のKISTを彷彿とさせます。僕にとって、様々な言語、宗教、世界観、そして個人的な夢や野望が交錯するこのような場所では必然的に学習が非常に重要な意味を持ちます。

また、この学校は、学問的、社会的に非常に健康で健全な環境を有していることもわかりました。ここにいる生徒

たちは学ぶことに喜びを感じ、多くの時間を知的成長に費やし、課外活動や校外活動にも積極的に参加しています。また、彼らは非常に協力的です。学習に関してマイナスの競争心を見ることは殆どありません。このこと



Motoi (正面・前列) と友人たち

こそ、NYUADの生徒たちが非常に密なつながりを持っている理由だと思います。でも僕がこの学校と、この人々を好きな理由はそれだけではありません。生徒も、教授、講師、警備員、その他職員皆さんがいつも笑顔なのです。どこに行っても、前向きで、プラスの雰囲気にあふれているのです。

この環境にいと、自分の専門分野や興味のあること: 数学、フットボール、そして写真、にもっと深く取り組もうと思うと同時に、これから興味を持つような分野を見つけようという意欲が湧いてきます。今、僕は、毎朝大学対抗フットボールの練習に参加するだけでなく、週末にはインタラクティブメディアのワークショップに参加したり、観劇をしたり、ルームメイトと国内の観光をしたりしています。上記に加え、この国のシークからの寛大な経済的援助のお陰でアブダビ以外の国について知る機会を得ることができています。この秋休みには友人2名とアムステルダムを訪ねました。異なる生活環境を自分の目で見、オランダの文化を実際に体験することは非常に触発的で有意義な学びの機会でした。

これからの3年半をこれまで見たことのない世界を体験し、これまで関わったことのない人々と知り合っていきたいです。しかし、もっと重要なことは、自分自身がアブダビ・NEWよく大学での学生生活を常に幸せで前向きに過ごすことだと思っています。

今のところ、軌道に乗れていると思います。

**Motoi**  
KIST Alumnus, "Class of 2016"